

施策番号	1804		
施策名	新しい学習環境づくり		
概要	老朽化した学校施設の機能改善の際、環境やバリアフリーに配慮し、子どもが安心して快適に過ごせる学習環境を整備する。		
担当局・部室	教育委員会・総務部, 教育環境整備室	共管局・部室	
上位政策	18 学校教育		
施策に関する 主な分野別計画等			

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	23年度	24年度	25年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト	
1 エコ改修・バリアフリー等新しい学習環境づくりのための施設整備を行った件数(件)	-	a	10	16	8	200.0%	a	1.00	
2 太陽光・風力発電システムや校舎断熱等の整備件数(件)	-	a	12	12	8	150.0%	a	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		-	a	客観指標総合評価				a	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	25年度回答					有効回答 者数	評価
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1 安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。	42 9.0%	198 42.4%	156 33.4%	53 11.3%	18 3.9%	467	b
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
						市民生活実感調査総合評価	b



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					24年度	A
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 市立学校施設整備という対象が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果がすぐには反映されにくい性質があるため客観指標を重視する。						23年度	B
(原因分析) ・学びの場であり地域の拠点でもある学校において、学校を核とする地域ぐるみの環境教育の展開を目指し、断熱等省エネに配慮した施設改修を行った件数が目標値を大幅に上回ったため、客観指標がa評価となった。 ・市民生活実感評価は、肯定的な評価が半数以上を占めるものの、学校施設の整備が市民生活の実感にはすぐにつながりにくいと考えられるため、b評価となっている。							

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	私立幼稚園等助成	409,196	412,067	良い	教育委員会
2	学校コンピュータ環境整備	600,875	765,349	かなり良い	教育委員会
3	学校アシスタント	63,208	43,393	—	教育委員会
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

・省資源、省エネルギーなどの環境負荷低減やバリアフリーの観点から新たな学習環境づくりのための整備を行うとともに、施設の長寿命化の視点を踏まえながら、今日的課題や必要性・緊急性に応じた事業を引き続き進める。

・太陽光発電や節水型トイレの設置など、環境に配慮した施設整備を行うことにより、次代を担う子どもたちに地球環境を大切にすることを醸成する環境教育の一層の充実を図る。

・学校体育館は、児童生徒の学校教育活動や地域住民の生涯学習やスポーツ活動等の場であると同時に、大災害時には地域住民の緊急避難施設としての役割を果たしており、そうした施設として最大限機能するよう、学校体育館の全面改修を行うとともに、避難施設としての機能強化や耐震性の更なる向上に向けた整備を実施し、学校教育活動の場としてふさわしい環境にも配慮した防災機能強化型体育館としての機能充実を図る。また、消火用水やトイレ等の生活用水として活用されるなど、災害対策としても重要な役割を果たす学校プールについても、防災機能の強化に向けた整備を行う。

施策名	1804	新しい学習環境づくり				
指標名	エコ改修・バリアフリー等新しい学習環境づくりのための施設整備を行った件数（件）					
担当課	教育環境整備室	連絡先	222-3791			
<b>1 指標の説明</b>						
新たな学習環境づくりのために、過去に建築した建物について、エネルギー効率やバリアフリーの観点から整備を行った件数						
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>			
省エネに配慮し、利用しやすい学校づくりの取組状況を示す指標			算出方法：改修実績数を計上 出典：事業担当課調べ			
<b>4 数値</b>						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	10	16	6校増	8	平成32年度までに80件の整備を行うために、毎年度、達成すべき数値。	200.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		80	32年度	32.5%	事業担当課調べによる。	23年度からの取組であるため、評価結果は24年度からとなる。
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>		
目標値に対する達成割合 a: ~8件以上 b: 7件~6件 c: 5件~4件 d: 3件~2件 e: 1件~0件		目標値以上の達成件数をa評価とし2件刻みで基準を設定した。		23	24	25
				-	a	a

指標名	太陽光・風力発電システムや校舎断熱等の整備件数（件）					
担当課	教育環境整備室	連絡先	222-3791			
<b>1 指標の説明</b>						
緑のカーテン、風力発電、太陽光発電、校庭芝生化、校舎断熱、節水型トイレのうちいずれかの環境教育に活用できる施設改修を行った件数						
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>			
学びの場であり地域の拠点である学校に環境に配慮した施設を整備し、これらを通じて子どもたちや地域住民の環境への関心を高める取組を示す指標			算出方法：学校への設置状況調査 出典：事業担当課調べ			
<b>4 数値</b>						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	12	12	増減なし	8	平成32年度までに80件の整備を行うために、毎年度、達成すべき数値。	150.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		80	32年度	30.0%	事業担当課調べによる。	23年度からの取組であるため、評価結果は24年度からとなる。
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>		
目標値に対する達成割合 a: ~8件以上 b: 7件~6件 c: 5件~4件 d: 3件~2件 e: 1件~0件		目標値達成件数をa評価とし2件刻みで基準を設定した。		23	24	25
				-	a	a